

# 環境経営レポート

## 宮野商工株式会社

認証・登録番号 0006831

〒192-0063

東京都八王子市元横山町2-6-21

電話 042-642-2265

FAX 042-644-2468

【2021 年度版】

(2021 .2 ~ 2022 .1)

発行日 2022 . 2 . 22

# 1、組織の概要

事業所名	宮野商工 株式会社		
代表取締役	宮野 幹雄		
設立	1957年 4月 17日		
資本金/年商額	2,400万円 / 3,130 百万円 ( 2021年2月~2022年1月 )		
事業内容	工作機械、荷役機械、エアー及び油圧機器・工具・部品等の販売		
社員数(人)	39		
環境管理責任者	野間 孝		
本社	所在地	〒192-0063 東京都八王子市元横山町2-6-21	
	TEL	042-642-2265	FAX 042-644-2468
	拠点別人数	20	床面積 (㎡) 348
	担当者	岩波 真依 / 川鍋 和大	E-Mail <a href="mailto:somu@miyano-sk.jp">somu@miyano-sk.jp</a>
	認証・取得状況	2011年3月30日 認証・登録済	保有車両台数(台) 10
神奈川支店	所在地	〒252-0336 神奈川県相模原市南区当麻863-12	
	TEL	042-778-2202	FAX 042-778-5976
	拠点別人数	6	床面積 (㎡) 74
	担当者	有野 崇 / 井上 睦	E-Mail <a href="mailto:kanagawa@miyano-sk.jp">kanagawa@miyano-sk.jp</a>
	認証・取得状況	2012年3月30日 認証・登録済	保有車両台数(台) 3
山梨支店	所在地	〒402-0056 山梨県都留市つる5-1-75	
	TEL	0554-43-7461	FAX 0554-43-7497
	拠点別人数	7	床面積 (㎡) 84
	担当者	佐久間 由至 / 山本 麻衣	E-Mail <a href="mailto:n-nakahara@miyano-sk.jp">n-nakahara@miyano-sk.jp</a>
	認証・取得状況	2012年3月30日 認証・登録済	保有車両台数(台) 4
甲府営業所	所在地	〒400-0114 山梨県甲斐市万才656-8	
	TEL	055-276-4691	FAX 055-260-7170
	拠点別人数	6	床面積 (㎡) 99
	担当者	塩見 陽造 / 安藤 志のぶ	E-Mail <a href="mailto:y-shiomi@miyano-sk.jp">y-shiomi@miyano-sk.jp</a>
	認証・取得状況	2013年3月30日 認証・登録済	保有車両台数(台) 3

## 2、認証・登録の対象範囲（組織及び活動）、期間及び発行日

### 【認証・登録の対象範囲】

宮野商工株式会社 東京都八王子市元横山町2-6-21

### 【事業活動】

工作機械、荷役機器、エアー及び油圧機器・工具・部品等の販売

### 【対象事業所】

本社、神奈川支店、山梨支店、甲府営業所

### 【対象期間及び発行日】

・期間： 2021年2月～2022年1月                      ・発行日： 2022 . 2. 22

## 3、環境経営方針

### 【環境理念】

宮野商工株式会社（以下「当社」という）は、機械工具販売の事業活動を通して、地球と地域の環境保全に貢献します。

### 【環境経営方針】

- 1、環境経営システムを構築し、長期的な環境負荷の低減に取り組むことにより、環境経営の継続的改善を実施する
- 2、環境への取組みとして、特に次の事項に取り組めます。
  - 電気、都市ガス、燃料などのエネルギー使用量の削減及びそれにともなう二酸化炭素総排出量の削減
  - 水道使用量の削減
  - 廃棄物排出量、コピー・FAX用紙使用量の削減
  - 環境適合商品販売の推進
  - グリーン適合品購入・使用の推進（社内用事務用品に限る）
- 3、環境に関する法律・規則・協定・顧客要求を遵守します。
- 4、環境経営システムの内容を全社員に周知徹底し、環境に対する意識の向上に努めます。

制定日： 2010年3月1日

改訂日： 2020年3月2日

宮野商工株式会社

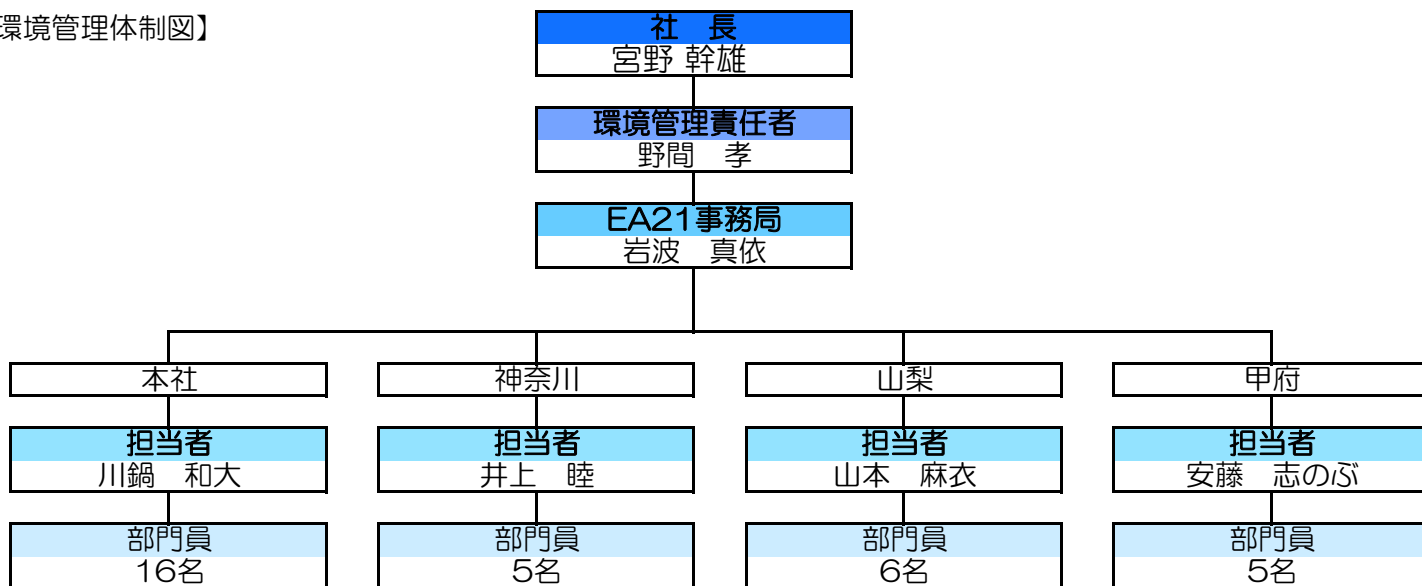
代表取締役 宮野 幹雄

## 4、実施体制の構築

社長は、当社の環境管理体制を下図のとおり定める。

- 各自の役割、責任及び権限を本マニュアル及び手順に定め全員に周知する。
- 社長は、環境経営システムを構築、運用し、その状況を社長に報告する役割を果たす環境管理責任者を指名する。

【環境管理体制図】



### 社長

- ① 環境経営の統括責任
- ② 環境管理者の任命
- ③ EA21における人材・設備費用の投入
- ④ 経営における課題とチャンス の明確化
- ⑤ 環境経営方針の策定、改訂及び全従業員への周知
- ⑥ 環境関連文書、環境経営レポートの承認
- ⑦ 全体の評価と見直しの実施

### 環境管理責任者

- ① 環境経営システムの構築・運用・管理
- ② 社長への報告
- ③ 環境関連文書の確認・改訂指示
- ④ 環境関連法規等の取りまとめ表の承認
- ⑤ 外部コミュニケーション窓口
- ⑥ 環境経営レポートの確認

### EA21事務局

- ① 環境関連文書の作成
- ② 環境経営の実績集計
- ③ 環境関連法規等の取りまとめ表の作成・遵守評価の実施
- ④ 事故・緊急事態の想定結果及び対応策の策定
- ⑤ 手順書作成・運用管理
- ⑥ 環境経営レポートの作成

### 担当者

- ① 環境経営システムの実施
- ② 環境経営計画の実施、実績・達成状況の報告
- ③ 環境負荷の自己チェック・取組みの自己チェック実施
- ④ 教育訓練の実施
- ⑤ 緊急事態訓練の実施・記録
- ⑥ 問題点の発見・予防処置是正の実施

### 部門員

- ① 環境意識の向上
- ② 経営計画の実行
- ③ 経営計画への協力
- ④ 取組状況のチェック

## 5、環境経営目標及び環境経営計画とその実績・評価

### 【1】環境経営目標と実績

- ・対象期間 2021年2月～2022年1月
  - ・当期間中の購入電力排出係数について 2019 年度東京電力(株) 調整後排出係数 0.441 (kg-CO2/kwh) を適用。
  - ・各項目の目標値は基準年より毎年1%削減した数値を適用とする。
- ※環境適合商品販売の促進の算出方法は、特定業者より集計した適合商品額/仕入月額合計。

項目(単位)	拠点	基準年/数値	2021年			中期目標(基準年比削減率)			
			目標	実績	達成率(%)	2022	2023	2024	
CO2総排出量 (kg-CO2) LPG分は 1㎡=2.07kgで算出	本社	2009年	74,483	65,545	51,212	-22%	64,800	64,055	63,311
	神奈川	2010年	21,782	19,386	17,827	-8%	19,168	18,950	18,733
	山梨	2010年	32,603	29,017	16,304	-44%	28,691	28,365	28,039
	甲府	2011年	11,879	10,691	10,596	-1%	10,572	10,454	10,335
	全社		140,747	124,639	95,939	-23%	123,231	121,824	120,416
電力使用量 (kwh)	本社	2009年	33,464	29,448	26,640	-10%	29,114	28,779	28,444
	神奈川	2010年	10,573	9,410	6,642	-29%	9,304	9,199	9,093
	山梨	2010年	11,348	10,100	5,480	-46%	9,986	9,873	9,759
	甲府	2011年	7,301	6,571	6,715	2%	6,498	6,425	6,352
	全社		62,686	55,529	45,477	-18%	54,902	54,275	53,648
燃料(ガソリン)使用 量 (ℓ)	本社	2009年	25,377.00	22,331.76	16,556.33	-26%	22,077.99	21,824.22	21,570.45
	神奈川	2010年	7,442.00	6,623.38	6,313.93	-5%	6,548.96	6,474.54	6,400.12
	山梨	2010年	11,529.10	10,260.90	5,475.71	-47%	10,145.61	10,030.32	9,915.03
	甲府	2011年	3,763.50	3,387.15	3,146.69	-7%	3,349.52	3,311.88	3,274.25
	全社		48,111.60	42,603.19	31,492.66	-26%	42,122.07	41,640.96	41,159.84
都市ガス使用量 (㎡)	本社	2009年	638.0	561.4	82.0	-85%	555.1	548.7	542.3
	神奈川	2010年	-	-	-	-	-	-	-
	山梨	2010年	-	-	-	-	-	-	-
	甲府	2011年	-	-	-	-	-	-	-
	全社		638.0	561.4	82.0	-85%	555.1	548.7	542.3
液化石油ガス使用量 (LPG)	本社	2009年	-	-	-	-	-	-	-
	神奈川	2010年	5.6	5.0	2.1	-58%	4.9	4.9	4.8
	山梨	2010年	28.5	25.4	17.0	-33%	25.1	24.8	24.5
	甲府	2011年	6.0	5.4	16.2	200%	5.3	5.3	5.2
	全社		40.1	35.7	35.3	-1%	35.3	34.9	34.5
灯油使用量 (ℓ)	本社	2009年	-	-	-	-	-	-	-
	神奈川	2010年	-	-	-	-	-	-	-
	山梨	2010年	336	299	354	18%	296	292	289
	甲府	2011年	-	-	-	-	-	-	-
	全社		336	299	354	18%	296	292	289
水使用量 (㎡)	本社	2009年	170	150	97	-35%	148	146	145
	神奈川	2010年	60	53	106	99%	53	52	52
	山梨	2010年	258	230	86	-63%	227	224	222
	甲府	2011年	58	52	96	84%	52	51	50
	全社		546	485	385	-21%	479	474	468
廃棄物排出量 (kg)	本社	2010年	5,630.5	5,011.1	2,183.0	-56%	4,954.8	4,898.5	4,842.2
	神奈川	2011年	1,793.6	1,614.2	1,547.9	-4%	1,596.3	1,578.4	1,560.4
	山梨	2011年	2,152.2	1,937.0	1,352.4	-30%	1,915.5	1,893.9	1,872.4
	甲府	2011年	1,475.9	1,328.3	1,415.0	7%	1,313.6	1,298.8	1,284.0
	全社		11,052.2	9,890.7	6,498.3	-34%	9,780.2	9,669.6	9,559.1
北 <sup>レ</sup> 用紙使用量 (百枚)	本社	2016年	155,300	147,535	140,148	-5%	145,982	144,429	142,876
	神奈川	2016年	57,823	54,932	57,986	6%	54,354	53,775	53,197
	山梨	2016年	49,194	46,734	50,000	7%	46,242	45,750	45,258
	甲府	2016年	55,762	52,974	50,414	-5%	52,416	51,859	51,301
	全社		318,079	302,175	298,548	-1%	298,994	295,813	292,633
環境適合商品販売促進(%)	全社	2016年	29.51	28.03	21.38	-24%	31.28	31.58	31.87

\*コピー用紙使用量、環境適合商品販売促進は2016より集計。

\*環境適合商品販売促進の目標値は、2016年度より集計。

\*廃棄物排出量は、事業系廃棄物と産業系廃棄物の合計値。

## 【2】 具体的取組と評価

項目	具体的取組	評価
電力消費量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機の省エネ（冷房27℃ 暖房21℃）</li> <li>暖房器の省エネ</li> <li>不用時の消灯、電源OFF</li> <li>昼休みの消灯実施（但し、事務所は例外）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社で概ね目標達成出来ている。コロナ集団感染を起こさないよう本社のみ事務所の人数を2階3階に分けた影響で、その分の暖房等の電力消費が増えてしまった。また全社で日中は換気のために窓を開放しているため、その分の空調での消費量が上がってしまっている。社員の体調第一で削減に努めたい。</li> </ul>
車両燃料消費量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全運転、運行管理の徹底</li> <li>エコドライブの実施（急発進、急加速、急ブレーキの防止）</li> <li>毎月の走行距離、平均燃費を比較</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染が落ち着いた月もあったため、去年よりも消費量が上がってしまった。例年以上の消費量にならないよう削減に努めていきたい。</li> <li>安全運転とエコドライブの実施は徹底されており、今後も継続に努めたい。</li> </ul>
都市ガス使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガラストープの半開徹底</li> <li>給湯器使用後は元栓を締める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で目標達成できているが、甲府のみ目標未達が続いているので目標値の再設定が必要と思われる。</li> </ul>
灯油使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖房器の省エネ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気のために窓を開けているため、使用量が上がってしまっている。今後なるべく削減に努めたい。</li> </ul>
生活用水消費量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗面所、給湯室の節水</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては目標達成しているが、神奈川、甲府は達成できていないため、今後もより一層削減に努めたい。</li> </ul>
廃棄物排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の発生抑制と分別の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体で目標達成できているので今後もより一層削減に努めたい。</li> </ul>
コピー用紙使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用済み用紙の裏面利用の徹底</li> <li>極力、電子文書使用を推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>裏紙を積極的に使用しており、そのおかげか全体での目標は達成できた。今後もより一層削減に努めたい。</li> </ul>
環境適合商品販売促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境適合商品の販売を心がける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標に届いていないが、今後も積極的に販促進に努めたい。</li> </ul>

## 6、次年度の主要な環境経営計画の内容

### 【1】目標を達成するための取組

#### ①事務所における二酸化炭素排出量低減

- 冷房温度は27℃、暖房温度は21℃を極力徹底する。
- 空調機のフィルターを半年に1回清掃する。
- 昼休みの消灯を実施する。（但し、事務室は例外）

#### ②車輜運転における二酸化炭素排出量低減

- アイドリングストップ、エコドライブ（急発進、急加速、急ブレーキ等の防止）
- 自主点検・整備の実施
- 運行管理の徹底（飲酒運転、過労運転、免許の管理）
- 安全運転の徹底（最高速度の厳守、車間距離の保持、ながら運転の禁止）

#### ③廃棄物の発生抑制と分別

- 使用済用紙の裏面利用
- 次の分別を行い、数量の把握に取り組む

廃プラスチック類/金属類/梱包材（ダンボール）/リサイクル材・紙類（コピー用紙）/その他可燃物

### 【2】その他の取組

- 環境適合商品販売の推進

## 7、環境関連法規への違反、訴訟等の有無

社長	環境管理 責任者
宮野	野間

種類	法規制等の名称	遵守確認欄	担当
法	道路交通法	遵守確認	岩波
法	グリーン購入法	遵守確認	岩波
法	フロン排出抑制法	遵守確認	岩波
法	消防法	遵守確認	岩波
法	資源有効利用促進法	遵守確認	川鍋
法	廃掃法	遵守確認	川鍋
令	同上	遵守確認	川鍋
令	危険物の規制に関する政令	遵守確認	川鍋

### 《八王子》

令	東京都火災予防条例	遵守確認	岩波
令	八王子市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	遵守確認	岩波

### 《神奈川支店》

令	相模原市火災予防条例	遵守確認	井上
令	相模原市廃棄物の減量化、資源化及び 適正処理等の推進に関する条例	遵守確認	井上

### 《山梨支店》

令	都留市火災予防条例	遵守確認	山本
令	都留市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	遵守確認	山本

### 《甲府営業所》

令	甲府地区広域行政事務組合火災予防条例	遵守確認	丸茂
令	甲斐市廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行規則	遵守確認	丸茂

2021 年度において、環境関連の違反、訴訟等はありませんでした。



## 8、代表者による全体評価と見直し結果

昨年度から行っている新型コロナウイルスにおける対応策につきましては、会社全体で大分順応できてきたのではないかと思います。しかし会社の売上げにおきましては、営業に出る機会は徐々に増えてきつつある一方、いまだ例年通りとはいかない厳しい状況となっております。

エコアクションの活動の面でも、各項目の削減目標は概ね達成できていますが、数値自体は前年と同様の結果となっている為、今後も出来る限りの削減に努めていきたいです。

また本社の漏水問題が解決したことで、水使用量及び水道料金の大幅な削減ができた点は非常に良かったと思います。

引き続き環境活動に皆さんが前向きに取り組んでいって欲しいと思います。